

工業会NEWS 新春 特別号

発行日 2016 年 1 月 19 日
発行所 川越狭山工業会
印刷・制作 光村印刷株式会社



謹賀新年

会長挨拶



会長
(株)ユース
石田 嵩



皆様には平成 28 年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年中は会員をはじめ、関係各位の皆様にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

川越狭山工業会は 1965 (昭和 40) 年に誕生、昨年は創立 50 周年後の新たなスタートとなりましたが、会員、役員、事務局の皆様のご支援ご協力を戴き多くの事業を開催することができました。事業といたしましては各種セミナー、親睦や社会貢献活動の他、「第 2 回 彩の国工業会連携交流会」等も担当させて頂きました。こうした近隣工業団地との交流は今後も引き続き、継続して行きたいと願っています。

本年も、新しい時代を見据え様々な事業に取り組んでまいります。

変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしく申し上げます。



副会長
本田技研工業(株)
埼玉製作所
神戸 克之



副会長
(株)ピージー
エンジニアリング
原 光雄



副会長
(株)ヤマミ
メンテナンスセンター
照沼 拓

当工業会は、川越狭山工業団地に誘致された企業 68 社の相互親睦と外部連絡窓口として発足された「川越狭山工業団地懇話会」を前身とし、今日に至っています。

会の名称を「川越狭山工業会」に変更してからは、事務局の設置、地域社会との共存、行政との連携強化、財務の充実に努めてきました。時代や環境の変化に柔軟に対応しながら、会員と地域社会に真に貢献できる工業会を目指しています。



企画委員会

(株)岡本ローラ製作所

岡本 正巳

新年明けましておめでとうございます。

平素より企画委員会活動に於きまして各企画委員はじめ関係各位の皆様のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当委員会は川越狭山工業会の周知及び組織基盤の社会的認知度の向上を主眼として活動しております。



毎年、4月を年度始めとして5月に定期総会、10月に工業会会員意見交換会及び近隣自治会長会議、1月は賀

詞交歓会、そして2月に川越市、3月には狭山市との市政懇談会を企画委員会として運営活動しております。

他の委員会及び事務局とも協力して様々なサービスを会員企業に提供し、企業経営と従業員福祉向上、近隣地区との地域連携活性化の一助として活動する所存です。

今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



広報委員会

光村印刷(株)

吉原 民恵子

新年あけましておめでとうございます。会員企業の皆様には、日頃より広報委員会の活動にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成27年度は「ホームページ」のリニューアルが広報委員会が一番大きな活動となりました。『ユーザビリティ、デザイン印象度、情報量の向上』をコンセプトに制作しました。ぜひ、その出来栄えについてご確認頂きたく存じます。また、今年度は、川越狭山工業会の各活動に際してプロ並み?のカメラマンを揃え密着取材の体制を整えました。

今後も、会員相互のコミュニケーションサポートはもちろん、外へ向けての発信も念頭に、魅力ある川越狭山工業会のPRの一端を担えればと存じます。今後ともご支援ご協力を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い致します。



環境交通委員会

(株)新狭山ガーデン

諸口 政人

新年明けましておめでとうございます。平素は環境交通委員会の活動に際しまして多大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、昨年度は、工業団地内の環境美化活動の一環として、線路沿いの除草作業から始まりパンジーの花苗を1300株植えた「花を植える集い」。筑波宇宙センターへ行き、日本が世界に誇る素晴らしい技術開発を目の当たりにし、made in Japan のすごさを改めて実感することができた「視察研修会」。毎月1回の「清掃デーの実施」等が主な活動でした。今年度も、工業団地内の環境を少しでも良くするための活動を行ってまいりますので、

会員皆様方のご協力、ご支援、ご指導をよろしくお願い致します。





スキル交流委員会

(株)ホシノ建設
星野 芳則

新年明けましておめでとうございます。日頃より各事業にご協力を頂き感謝を申し上げます。当委員会はメンバーとの絆、関係団体との絆が深まる事を目標に矢嶋・南崎副委員長はじめ15名のメンバーで、研修会・他団体との交流・会員相互の懇親会などを担当し事業を展開しています。昨年の10月はゴルフコンペ、11月は環境交通委員会と共催で筑波宇宙センター、キリンビール工場の見学を行いました。12月には、お葬式のマナーについて研修を行いました。事業内容は月一の委員会で、皆さんのお役に立つことを心がけて検討しています。来月2月17日(水)には、本年度最後の事業ボウリング大会をグランドボウルさんで企画しています。20レーンを使い楽しく、そして豪華賞品を沢山用意しておりますのでふるってご参加ください！



防災委員会

(株)ニチアコミュニケーション
吉野 忠明

新年明けましておめでとうございます。

会員企業の皆様には、日頃より防災委員会の活動にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 27 年度は委員会の名の通り『防災』に力を入れて取り組みを行うとの方針を立て、11月24日(火)に消防署との連携事業である『防災体験訓練』を実施致しました。屋内消火栓を使用した放水訓練や煙テントハウスでの避難訓練など、普段実施することが難しい体験訓練を行いました。お陰様で会員企業様から多数の申し込みがあり、17社36名の参加を頂きました。今回は募集開始から直ぐに予定数に達してしまったため、早々に締め切りをさせて頂いた次第ですが、とても好評をいただいた訓練となりましたので今後も開催していきたいと考えております。

会員企業様の防災に対する一助になるよう防災委員会で様々な活動して参りますので、今後ともご支援のほど宜しくお願い致します。



◆平成 27 年度 川越狭山工業会 主な活動状況

4月	アダプトプログラム「パンジー周辺の除草作業」 約70名参加
5月	・定期総会 於 アズグレイス 講演会 「航空自衛隊の現状」 講師 航空自衛隊入間基地中部航空方面隊 司令官 空将 平本正法様 ・第1回 彩の国工業会連携交流会参加 於 久喜菖蒲工業団地
8月	市政懇談会のためのアンケート調査
9月	・ホームページのリニューアル ・第2回 彩の国工業会連携交流会主管 工場見学: 本田技研狭山工場 交流会: 新狭山ホテル
10月	・航空自衛隊入間基地退職者雇用協議会 企業面談会 3社参加 ・工業会市政懇談会のための意見交換会 ・会員親睦ゴルフコンペ 12名参加 ・近隣自治会意見交換会・懇談会 於 大穀
11月	・第2回 アダプトプログラム「パンジーを植える集い」 約160名参加 ・視察研修会 筑波宇宙センター、キリンビール取手工場見学 32名参加 ・防災体験訓練 36名参加 狭山消防署 防災講話、地震体験、暗闇避難訓練、煙避難訓練、水消火器訓練、屋内消火栓を使用した放水訓練

12月	・第1部: 研修セミナー 於 新狭山ホテル 「恥をかかないお葬式のマナー」～宗派による焼香と弔問のマナー 講師 株式会社セレモア埼玉本社 嶋田竜博様 30名参加 ・第2部 年末会員親睦会 42名参加
	○毎月第3水曜日 清掃デー ○毎月1日・15日 違法駐車撲滅キャンペーン

○今後の予定

- 1月 賀詞交歓会
- 2月 ボウリング大会

○駐車場管理状況

利用事業者数 9社 利用台数 282台

【会員数状況】

98社 { 正会員 81社 (川越市38社 狭山市43社)
 { 賛助会員 17社

平成27年12月現在

ホームページを リニューアルしました！

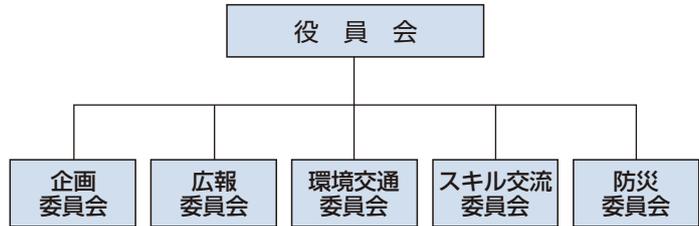
昨年9月10日より
川越狭山工業会のHP
を一新いたしました。

委員会開催案内等も
掲載しておりますので、
ぜひご覧下さい。



<http://www.kawagoesayama.biz-web.jp/index.php>

組織図



入会案内

入会金

5,000円/事業所

会費

正会員 48,000円/年 会費納入については、一括または2回に分納して指定口座に納付する
賛助会員 36,000円/年 特別会員は、一括納付とする
特別会員 12,000円/年 会計年度の後期に入会の場合は、会費を半額とする

条件

正会員 川越狭山工業団地内、近隣(概ね1km)の企業で当会の事業活動に賛同する企業・団体とする
賛助会員 本会に関連し、事業活動に賛同する企業・団体とする(区域限定なし)
 委員会には、所属しないものとする
特別会員 本会の事業活動に賛同する個人・個人事業主とする(入会金の免除)

入会

所定の入会申込書を提出し、役員会の審議承認を経て、入会を認めるものとする

川越狭山工業会(事務局)

〒350-1305
 狭山市入間川 3-22-8
 狭山市商工会館 2階
 TEL 04-2955-2000
 FAX 04-2955-2153
 MAIL ksia@estate.ocn.ne.jp

◆ 川越狭山工業団地マップ



避難所		
狭山市	住所	備考
三ツ木公園	新狭山3丁目3番地	防災井戸あり
新狭山公園	新狭山1丁目4番地	
本団地工業団地	新狭山1丁目10番地の1	

避難場所		
川越市	住所	備考
南谷ふじみ公園	南谷3丁目5	

※避難場所・・・屋外施設で一時的に集合し、安全の確認等を行う施設

凡例	
■	一般利用公衆電話
■	災害時利用可能公衆電話
★	AED設置箇所
▲	防災無線

凡例	
●	災害時利用可能井戸
●	災害時利用可能簡易トイレ
●	災害時利用可能簡易シャワー
●	災害時利用可能衛星電話

※避難所・・・災害時に指定している避難所